授業科目	発達臨床心理学					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	3	開講時期	後期
担当教員	水貝　洵子						
授業概要	対人援助場面において，自閉症スペクトラム障害をはじめとする発達障害児者への支援のニーズが高まっている。本講義では，障害に関する医学的理解や診断的理解にとどまらず，当事者がライフサイクルごとにどのような体験をしているかといった心理社会的視点で障害特性への理解を深めていく。 さらに，乳幼児期から思春期までの発達障害児者への心理支援の方法として「ソーシャルストーリー」「グループセラピー」「臨床動作法」を取り上げる。支援方法の概要について解説を行うとともに，対象児者に応じた目的や配慮点についても検討する。心理支援の方法理解を通じ，障害児者への支援において大切な姿勢や視点について学ぶ。						
授業形態	講義			授業方法	ディスカッション グループワーク プレゼンテーション		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1．自閉症スペクトラム障害をはじめとする発達障害児者のライフサイクルごとにみた悩みや課題，強みについて説明できる。 2．発達障害児者を対象とした「ソーシャルストーリー」等の心理支援方法に関して、その概要や目的を説明できる。 3．本講義での学習内容を通じ，発達障害児者への適切な支援の在り方について考え始めることができる。
理想的レベル	1．自閉症スペクトラム障害をはじめとする発達障害児者のライフサイクルごとにみた悩みや課題，強みについて適切に説明できる。 2．心理支援の方法である「ソーシャルストーリー」等の心理支援方法に関して、その概要や目的を適切に説明できる。 3．本講義での学習内容を通じ，発達障害児者への適切な支援の在り方について考えることができる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	60%	
小テスト		
レポート	15%	授業にて提出を求める質問感想シートやワークシートを指す
発表（口頭、プレゼンテーション）	25%	
レポート外の提出物		
その他		

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	WE31408J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
該当箇所の復習および授業内で扱った話題についての調べ学習	4

授業計画

第１回	テーマ：オリエンテーション 本講義のオリエンテーションを行う。
第２回	テーマ：ライフサイクルごとにみた発達障害児者の状態像の理解１ 　当事者１の手記やその手記を分析対象とした研究を読み、発達障害の診断基準と照らし合わせながら、当事者がどのような体験をしているのか理解を深めていく。
第３回	テーマ：ライフサイクルごとにみた発達障害児者の状態像の理解２ 　　当事者１の手記やその手記を分析対象とした研究を読み、発達障害の診断基準と照らし合わせながら、当事者がどのような体験をしているのか理解を深めていく。
第４回	テーマ：ライフサイクルごとにみた発達障害児者の状態像の理解３ 　グループに分かれ当事者の手記に関する研究の読み合わせを行い、当事者の体験に関する理解を深める。
第５回	テーマ：ライフサイクルごとにみた発達障害児者の状態像の理解４ 　各グループごとに担当した当事者の体験について、研究に記載された図を基に全体に向けて説明・発表を行う。
第６回	テーマ：ライフサイクルごとにみた発達障害児者の状態像の理解５ 　様々な当事者の体験について学習したうえで、共通点や相違点を考える。体験的理解を深めるための心理学の知見について紹介する。
第７回	テーマ：ソーシャルストーリー１ 幼児期の発達障害児を対象としたソーシャルストーリーの概要やねらい、留意点を解説する。
第８回	テーマ：ソーシャルストーリー２ 実施にソーシャルストーリーの作品作りを行う。受講生同士で作品を読み合い、作成にあたっての留意点等について考える。
第９回	テーマ：ソーシャルストーリー３ ソーシャルストーリーを用いた支援事例について紹介する。臨床現場で用いる際の工夫や留意点について考える。
第10回	テーマ：グループセラピー１ グループセラピーの概要について解説した後、実践で用いられるプログラムを体験する。グループ体験について振り返り、どのような体験が自閉症児者にとって支援に繋がるかについて考える。
第11回	テーマ：グループセラピー２ グループセラピーの概要について解説した後、実践で用いられるプログラムを体験する。グループ体験について振り返り、どのような体験が自閉症児者にとって支援に繋がるかについて考える。
第12回	テーマ：グループセラピー３ グループセラピーの臨床実践事例を紹介する。グループセラピーを用いる際の工夫や留意点について考える。
第13回	テーマ：臨床動作法１ 臨床動作法の概要について解説した後、動作課題に実際に取り組む。動作課題に取り組んだ体験について振り返り、どのような体験が自閉症児者の支援として繋がるのか考える。
第14回	テーマ：臨床動作法２

	臨床動作法の概要について解説した後、動作課題に実際に取り組む。動作課題に取り組んだ体験について振り返り、どのような体験が自閉症児者の支援として繋がるのか考える。
第 15 回	テーマ：まとめ これまでの授業内容について振り返る。様々な心理支援について、ライフサイクルに応じた用い方について考える。
テキスト	授業中に適宜資料を配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	『発達障碍の理解と対応　心理臨床の視点から』田中千穂子（編著）金子書房
課題に対するフィードバックの方法	レポートを通じて出された授業内容に関する質問やコメントについては、適宜授業内で紹介し回答を示す。
学生へのメッセージ・コメント	発達障害に関する診断基準等の基礎知識を有していることが望ましい。 障害者を取り巻く環境や支援、制度について関心を持ち、ニュースや書籍などに積極的に触れること。また、ニュースや本の知識に触れるだけでなく、当事者にとってはどのような意味をもつのか考える姿勢をもってもらいたい。